

第 30 回まちづくり審議会

【日時】 平成 27 年 4 月 21 日（火曜日） 14 時 00 分から 15 時 10 分まで

【場所】 市役所 5 階第 1 委員会室

【出席者】（まちづくり審議会委員）

長谷川彰委員、山本尚三委員、加藤芳樹委員、山口珠美委員、
恵土卓委員、伊藤栄一委員、平野昌子委員、山口由美子委員、
小深田雅也委員、枋川敏委員、近藤利恵委員

まちづくり審議会委員 11 名

（事務局）

荘加淳夫市民部長、村瀬雅也地域振興課長、
遠藤文彦自治振興係長、田中圭一同係主査、吉田拓矢同係主事

【資料】

会議次第

まちづくり審議会委員名簿

協働のまちづくり事業の評価及び提案について（諮問）

資料番号 1 - 1 協働のまちづくり事業（若葉台高齢者ささえあい事業）の平成 26 年度事業の自己評価書

資料番号 1 - 2 協働のまちづくり事業（若葉台高齢者ささえあい事業）の平成 26 年度事業の行政自己評価書

資料番号 2 - 1 協働のまちづくり事業（下恵土地区安全・安心まちづくり事業）の平成 26 年度事業の自己評価書

資料番号 2 - 2 協働のまちづくり事業（下恵土地区安全・安心まちづくり事業）の平成 26 年度事業の行政自己評価書

1．開会

事務局

ただ今から第 30 回まちづくり審議会を開催させていただきます。私は今年度 4 月から地域振興課長を務めております村瀬と申します。よろしく申し上げます。それでは、はじめに審議会長からご挨拶をお願いします。

会長

委員の皆様、本日はご多用の中お集まりいただきまして、ありがとうございます。本日は2件の団体から、事業についての自己評価ならびに3年間の活動報告、そして行政からの自己評価をいただきますので、皆様より忌憚のないご意見を頂戴できればと思います。よろしく申し上げます。

事務局

ありがとうございました。続きまして、市民部長の荘加からご挨拶申し上げます。

市民部長

以前は経済部局でお世話になっておりましたが、今年度4月から市民部長となりました、荘加と申します。本日は2件の諮問事項がございますが、皆様からの忌憚のないご意見をいただきながら、「住みごこち一番 可児」を目指して、皆様とまちづくりについて審議していきたいと思っております。本日はよろしく申し上げます。

事務局

続きまして委嘱についてです。昨年まで自治会代表として、市自治連絡協議会より、品川氏に委員を委嘱しておりましたが、役員交代につき、委員を辞任されました。本日は、新たに市自治連絡協議会より長谷川彰委員にお越しいただいております。長谷川委員には、平成27年4月1日から品川委員の残りの任期を委員として委嘱させていただきたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。それでは、市民部長より長谷川委員へ委嘱状の交付を行います。

(市民部長より長谷川委員へ委嘱状の交付)

事務局

それでは、長谷川委員から自己紹介をお願いします。

長谷川委員

皆様こんにちは。品川委員が市自治連絡協議会を退任されましたので、残りの期間、委員を務めさせていただきます。私は土田地区の自治連合会長を務めております長谷川と申します。よろしく申し上げます。

事務局

ありがとうございました。

続きまして、副会長の選任についてです。今回、まちづくり審議会の副会長であった品川委員の辞任にともない、副会長が空席となっておりますので、副会長を選出する必要があります。どのような方法で選出すればよろしいでしょうか。ご意見をお願いします。

委員

会長に一任してはどうでしょうか。

事務局

会長に一任という意見が出ましたが皆さんいかがでしょうか。

(意見なし)

事務局

それでは、会長から副会長の選出をお願いします。

会長

会長に一任ということでしたので、私から指名させていただきます。前副会長の品川委員もそうでしたが、まちづくりを考えるうえで、自治会の役割は大きいものであると考えております。そういった意味で、自治会の代表としておいでいただいております、長谷川委員に副会長をお願いできればと思いますがいかがでしょうか。

(拍手多数)

事務局

それでは、長谷川委員に副会長をお願いしたいと思います。
長谷川委員は前の席にお移りください。

(副会長席移動)

事務局

それでは、長谷川委員より、副会長として一言お願いしたいと思います。

副会長

はい。可児市の子供たち、高齢者たちに何を伝えていくのかを考えると、まちづくりの意義はとても重要であると思います。この場で審議されたことが、可児市の中でいろいろな方面に伝えていき、可児市の安心安全、未来の子供たちに向けてまちづくりをしていく。そしてその一端を少しでも担うことができればという思いで参加させていただきます。よろしくお願いします。

事務局

ありがとうございました。では、まちづくり審議会の成立要件について、ご説明します。本日 14 名の審議委員のうち 11 名のご出席をいただいておりますので、審議会の成立要件であります、過半数を超えていますので報告させていただきます。

本日の諮問案件につきましては、若葉台高齢福祉連合会と下恵土自治連合会の市民参画と協働のまちづくり条例に基づく協働のまちづくり事業になりますので、よろしくお願いします。それでは審議会長、進行をよろしくお願いします。

2. 審議

議題 1 . 平成 26 年度若葉台高齢者ささえあい事業の事業評価について

(若葉台高齢福祉連合会 入場)

会長

若葉台高齢福祉連合会の皆さん、今日はお忙しいところおいでいただきまして、ありがとうございます。それでは、平成 26 年度の若葉台高齢者ささえあい事業の自己評価の発表をいただきたいと思います。

(若葉台高齢福祉連合会 配付資料に基づき説明)

会長

ありがとうございました。次に市から平成 26 年度事業の行政自己評価の説明をお願いします。

(事務局 説明)

会長

ありがとうございました。それでは、ご質問等がありましたらお願いします。

委員

事業の一つである「アッシーくん」についてですが、料金はいくらですか。また、移動範囲はどこまでですか。

若葉台高齢福祉連合会

料金は無料です。財源については、団地内での資源回収や募金等でまかなっております。移動範囲については、団地内で12ヶ所の停留所を決めて、そのうち6ヶ所ずつを1日おきに周っており、ダイヤも決まっています。

会長

ありがとうございます。他に意見がなければこれで若葉台高齢福祉連合会の皆さんには退席していただきます。ありがとうございました。

(若葉台高齢福祉連合会 退場)

会長

それでは、審議に移りたいと思います。皆さんからご意見を頂きたいと思いますがいかがでしょうか。

(意見なし)

会長

行政側からは非常に高い評価をいただいておりますが、自己評価についてはB評価があり、自己評価を厳しくつけている印象がありました。

意見がないようですので、事業主旨にそって、適切に事業運営を行い、高い成果をあげたという評価にさせていただければと思います。

それでは、若葉台高齢福祉連合会についてはこれで審議を終えさせていただきます。

議題 2 . 平成 26 年度下恵土地区安全・安心まちづくり事業の事業評価について

(下恵土自治連合会 入場)

会長

それでは、下恵土自治連合会の皆さん、今日はお忙しいところおいでいただきまして、ありがとうございます。それでは、平成 26 年度の下恵土地区安全・安心まちづくり事業の自己評価の発表をいただきたいと思います。

(下恵土自治連合会 配付資料に基づき説明)

会長

ありがとうございました。次に市から平成 26 年度事業の行政自己評価の説明をお願いします。

(事務局 説明)

会長

ありがとうございました。それでは、ご質問等がありましたらお願いします。

会長

事業の自立を目指していただき、非常に高く評価できるのではないかと思います。

ただ、自己評価の中で、PR・広報の項目だけ B 評価がありました。この評価の理由について教えていただきたいです。

下恵土自治連合会

自治連合会の活動内容があまり知られていないというのが一番の理由です。多くの住民に知ってもらうよう働きかける部分で、まだまだ課題があると思いますので、B 評価としました。

会長

何をやるにしても、活動を知ってもらうことは難しいと思いますが、こういった活動を続けていくことで、少しずつ地域住民のご理解を深めていくことにつながっていくと思います。引き続き事業に取り組んでいただきたいです。

他にご意見、ご質問はございますか。なければこれで下恵土自治連合会の皆

さんには退席していただきます。ありがとうございました。

(下恵土自治連合会 退場)

会長

それでは、審議に移りたいと思います。皆さんからご意見を頂きたいと思いますがいかがでしょうか。

(意見なし)

会長

それでは、本事業につきましても、事業主旨にそって、適切に事業運営を行い、高い成果をあげたという評価にさせていただければと思います。

諮問事項につきましては以上で終了いたしました。その他事項として、事務局から何かありますでしょうか。

事務局

本日は、2つの事業について審議していただき、ありがとうございました。平成26年度をもちまして、2つの事業は終了しました。現在のところ、まちづくり事業として、新たな案件はありません。したがって、次回のまちづくり審議会の開催日程についても、今のところ未定となっております。よろしくお願いいたします。

会長

今後の動きについては、事務局から説明があったとおりとなります。

まちづくり条例に基づいた事業を長年続けてきましたが、近年、応募する団体も減少傾向にあります。まちづくりについてどう考えるのか、そしてその支援のあり方について、いろいろな意味で、曲がり角に来ているのかもしれない。可児市をより住みやすい素敵な街にしていくために、市民の活動をどう支えていくのかという点について、しくみを改めているいろいろなことをしていく必要があるのかもしれない。そういった点について、委員の皆様のご意見を聞く機会をつくっていきたいと思っていますので、その際は、皆様のご経験を生かした様々な意見をいただきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

事務局

それでは、これもちまして審議を終わらせていただきます。本日はありがとうございました。

(閉会)